



地球温暖化対策で



# 防災力をアップしよう！

**地球温暖化**が進んだ分だけ、強い台風や大雨の頻度が増えて、土砂災害や洪水の危険性も高まっています。

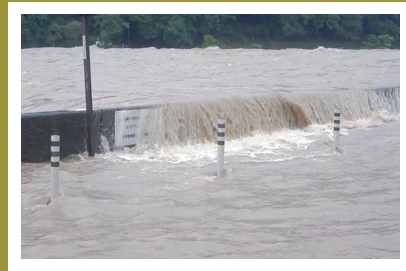
平均気温が1.5℃上昇した場合、**10年に1度の大雨の回数が1.5倍に！**  
(すでに地球の平均気温は約1.1℃上昇しています)

2017年10月 道路の土砂崩落  
(京都府綾部市)



写真：国土交通省近畿地方整備局

2018年6月 嵐山・桂川の氾濫  
(京都府京都市)



写真：国土交通省近畿地方整備局

防災グッズはある？  
備蓄は足りている？  
避難場所はどこ？



家に太陽光発電があるけれど、  
停電したとき  
どう使うんだっけ？



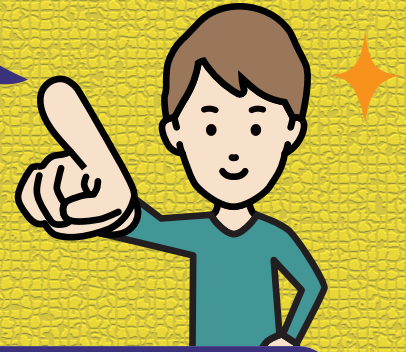
地域の避難所も  
停電したらどうしよう！  
夏の暑さや冬の寒さも  
心配…



- 家族や地域の人と相談したり確認しておくことが大切です。  
日頃から災害に備えましょう。
- 同時に、大雨等の原因にもなる地球温暖化の対策もすすめましょう。

詳しくは裏面へ！

# 災害が起こったその時に何ができるかは それまでに何を備えておくかで決まります！



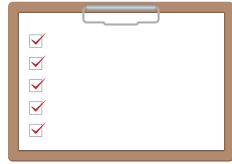
以下を参考にして、災害に備えましょう。  
※詳しい情報はウェブサイトに掲載しています。



## 減災グッズを確認しよう

メガネや薬、オムツやミルクなど、必要なものは人によって違います。チェックリストで確認してみましょう！

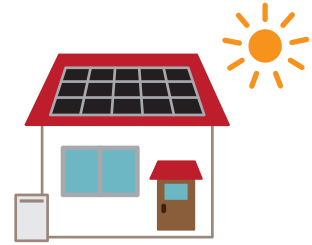
■人と防災未来センター  
「減災グッズを備えよう！  
チェックリスト」



## 家の設備を確認しよう

太陽光発電を設置している場合は自立運転のやり方を、蓄電池を設置している場合は停電時の使い方を確認しておきましょう。

■太陽光発電協会  
「停電時でも電気が  
使えます」



## 決めていますか？「避難スイッチ」

避難スイッチとは、災害が起こりそうなとき、逃げるタイミングを判断する基準となる情報です。

①まず自宅周辺の危険性を把握しましょう

②避難カードを作って避難場所・避難基準を確認！

■京都府「マルチハザード  
情報提供システム」



■【参考】京都府災害  
避難カードひな形



## 災害情報を知る！

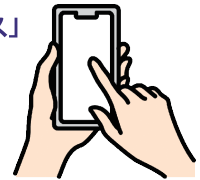
■京都府「防災・防犯情報メール配信」

注意報や警報などの気象情報、市町村からの避難情報などをメールで受け取ることができます。



■気象庁「キキクルの通知サービス」

気象情報を受け取ることができます。



## 災害に強い地域づくり

①地域の避難所や公共施設に、太陽光発電などの再生可能エネルギー（再エネ）を増やせば、災害時の停電に備えることができます。

②地域の防災イベントなどに参加しましょう。

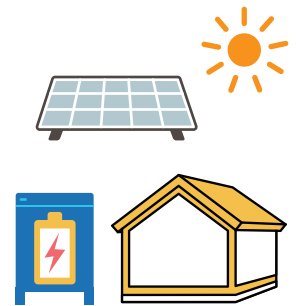


## 災害時にも役立つ省エネ住宅

太陽光発電や蓄電池が設置されていると停電時に役立ちます。

断熱がしっかりしていると被災時にも暑さ寒さをしのぎやすくなります。

新築・リフォーム・引越し等の機会を逃さず省エネ住宅にしましょう。



## 温暖化対策で

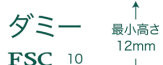
## 防災力もアップ

### 省エネ

日常でも災害時でも必要なエネルギーが少なくてすみます。

### 再エネ

災害時にもエネルギーを確保でき、温暖化の原因のCO<sub>2</sub>排出もへらせます。



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林、再生資源およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター  
(NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議)  
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3  
TEL：075-803-1128 FAX：075-803-1130  
Eメール：center@kcfc.or.jp  
URL：https://www.kcfc.or.jp/

